

平成30年度

事業報告書

公益財団法人群馬県産業支援機構

# 目 次

I 概要	1
II 事業実施状況	
1 経営支援	3
(1) 経営資源強化対策事業	
(2) よろず支援拠点事業	
(3) 事業引継ぎ支援センター事業	
(4) 創業支援事業	
(5) ハツ場ダム地域企業支援事業	
(6) 中小企業再生支援協議会事業	
(7) プロフェッショナル人材戦略拠点事業	
(8) 中小企業外国出願支援事業	
(9) 経営人材育成事業	
(10) 情報整備発信事業	
(11) ネットワーク交流促進支援事業	
(12) 上海事務所運営事業	
(13) プッシュ型事業承継支援強化事業	
(14) コンベンション主催者と県内企業のマッチング支援事業	
2 取引開拓支援	8
(1) 下請取引あっせん事業	
(2) 販路開拓支援事業	
3 ものづくり技術・産学連携支援	12
(1) ものづくり人材育成事業	
(2) 国・県の競争的資金の支援	13
(3) 戦略産業雇用創造プロジェクト事業	14
4 設備導入資金債権管理	14
5 理事会・評議員会の開催状況	15

# 平成30年度事業報告

## I 概要

我が国の経済は、国の積極的な経済政策等の効果により民需主導の持続的経済成長が実現し、緩やかな回復基調が続いておりましたが、海外の経済動向の影響も懸念されてます。

一方、地方経済について顧みると、県が公表した直近の景気動向指数では年度後半の業況DIは下降傾向を示し、日本銀行前橋支店の景気判断でも生産に弱みが見られるとしており、中小・小規模企業を取り巻く経営環境は、深刻な人手不足や人口減少・グローバル化など、地域経済の構造変化の影響を大きく受け、依然不透明な状況となっています。

このような中、国では生産性革命を掲げ、IoTや人工知能による民間の未来投資を誘発する取組や事業承継・働き方改革等中小企業等の活力や生産性向上に向けた支援策の強化を重点に据えていました。また県では、ものづくり基盤の強化、イノベーションの創出・促進、人材の育成等により地域の雇用を支える中小・小規模事業者の自立的経営と連携・協働による持続的発展の支援を展開しました。

こうした状況を踏まえ、当機構は国等の各種支援施策を最大限活用するとともに、県が掲げるプランの実現に資するよう関係機関と一層連携を深めながら、中小企業に寄り添い様々なステージに応じたきめ細かな伴走支援を行いました。

### (重点事項)

#### 1. 技術と経営のワンストップ相談窓口の拡充

群馬産業技術センター内への当機構事務所移転を契機に、経営と技術の一体的支援を可能とする「企業サポートぐんま」がスタートし、群馬産業技術センター及び発明協会とも連携して経営と技術の総合的支援を強力的に推進しました。

また、当機構内には、よろず支援拠点、経営総合相談窓口、再生支援協議会、経営改善支援センター、事業引継ぎ支援センター、プロフェッショナル人材戦略拠点等を設置していますので、中小・小規模企業の様々な経営課題に対し、ワンストップで経営・税務・特許・労務・IT・創業等の専門分野のコーディネーターが課題解決のために連携して伴走支援を行い、1万件を超える相談実績となりました。

## 2. 生産性向上のための支援

国が進める生産性革命のための各種支援施策を積極的に活用する企業や IOT・ロボット等革新的なイノベーションに挑戦する企業に対し、認定支援機関として補助金等の獲得に向けて積極的にサポートしました。

個別商談会や展示会・商談会出展支援などで294社の販路開拓を支援し、企業ニーズに即したテーマのセミナーも開催しました。

また、後継者や経営幹部の育成を目的とした、「ぐんま実践マネジメントスクール」、生産性向上のため作業現場の改善を進める「ものづくり改善インストラクタースクール」等を引続き実施し次世代を担う人材育成に努めました。

## 3. 事業承継支援の拡充

産業競争力強化法に基づき、平成27年7月に国からの受託により設置した事業引継ぎ支援センターにおいて実施している、M&A等による経営資源のスムーズな承継の促進のためのサポートを引き続き実施しました。

更に、県と共に策定した事業承継支援方針に沿って、プッシュ型事業承継支援強化事業を受託し、課題を抱える個別企業を、地域の専門家と連携してきめ細かな支援を行いました。

## 4. コンベンション関連産業参入支援事業

JR高崎駅の近くに2020年春の開所に向けて準備が進んでいるコンベンション施設「Gメッセ群馬」の整備を契機に、新たな経済需要の喚起、ビジネスチャンスの拡大、新規事業や雇用の創出などのコンベンション開催を県内事業者がしつかりと獲得できるよう主催者と県内業者のマッチングを支援しました。

また、開催支援事業者同士のネットワークを形成して受け入れ体制の構築を図るなど、県内コンベンション関連産業をサポートしました。

## II 事業実施状況

### 1. 経営支援

決算額	339,380 千円 (前年度 323,316 千円)
-----	-----------------------------

#### (1) 経営資源強化対策事業

経営支援における県内中核的支援機関として、中小企業のニーズに応じた幅広い経営相談に迅速に対応しました。

##### ① 経営総合相談窓口の運営

経営戦略や販路開拓、財務・資金、経営改善、IT、生産管理、労務管理、創業など中小企業が直面する経営上の様々な課題を解決するため相談窓口を設置し、マネージャー7人及び職員が随時、相談に応じ、適切な助言を行いました。

○相談実績（相談内容の延べ件数）

内 容	件数	構成比	内 容	件数	構成比
経営戦略	220	14.5	ビジネスプラン	296	19.5
創業	400	26.3	技術・特許	26	1.7
経営情報提供等	133	8.8	IT(情報技術)	13	0.9
販路	74	4.9	ISO	10	0.6
海外展開	68	4.5	法律	31	2.1
人材育成	32	2.1	会社設立	5	0.3
経営改善	106	7.0	事業承継	10	0.6
財務・資金	95	6.2	計	1,519	100

##### ② 専門家派遣事業

創業又は経営の向上や改善を目指す中小企業者からの要請に応じて、当機構登録の各分野の専門家を派遣して診断・助言を行い、企業が抱える課題の解決を支援しました。併せて「ミラサポ」を窓口とした国の専門家派遣事業も活用して、中小企業・小規模事業者の課題解決を図りました。

○派遣実績

・県費補助金分

\*補助率 1/2 (創業：1/10)

業 種	企業数	回 数
製造業	6 社	25 回
非製造業	9 社	29 回
計	15 社	54 回

・国の中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業分 \*補助率 10/10

業 種	企業数	回 数
製造業	21社	55回
非製造業	17社	38回
計	38社	93回

## (2) よろず支援拠点事業

中小企業・小規模事業者の起業・成長・安定の各段階の課題やニーズに対してきめ細かな対応を行なうため、販路開拓、IT、経営改善、現場改善、人材育成、事業承継、デザインなど各分野において知識を有する専門家を配置して各種支援策を活用しながら解決へと導くため、以下の取組みを行いました。

○体制：チーフコーディネーター1人  
 コーディネーター 17人 計18人

### ① 専門性の高い経営アドバイス

「売上拡大」や経営改善等の経営課題の解決に向けた支援を実施しました。

○相談対応件数：7, 712件 1, 233社

### ② 課題解決のための総合調整

経営課題、相談内容に応じて、群馬県発明協会、群馬産業技術センター等の専門の支援機関と相互連携して、支援を実施しました。

○連携した相談対応件数：260件

### ③ 他の支援機関に対する支援ノウハウの共有

経営相談の解決に必要な提案方法やこれまでに支援した事例など本事業を実施することを通じて蓄積された支援ノウハウの他の支援機関への共有を実施しました。

### ④ 支援機関等連携強化

群馬県中小企業支援地域プラットフォーム構成機関連絡会議1回、エクセレントパートナー認定研修を4回開催しました。

### ⑤ その他

出張相談会やセミナーのなどを開催しました。

○実績 成果報告会1回、研修・セミナー6回、出張相談会142回、勉強会・研究会48回

### (3) 事業引継ぎ支援センター事業

後継者不在などで事業の存続に悩みを抱える中小企業・小規模事業者の相談に対応するため、中小企業の事業承継の実務に精通した専門家を窓口に配置し、様々な事業引継ぎに関する課題解決をより具体的に支援しました。

また、小規模事業者の事業引継ぎを円滑に進めるため起業・創業者とのマッチングを行う後継者人材バンク事業を行いました。

○相談実績

内 容 別		業 種 別	
譲渡希望(売り)	83件	製造業	55件
譲受希望(買い)	96件	小売業	31件
その他	30件	その他	123件
計	209件	計	209件

○成約件数 18件

○後継者バンク 売り事業所18社 起業・創業者29人 成約2件

### (4) 創業支援事業

県内の開業率向上を目的として、創業支援センターに創業担当マネージャーを配置し創業者への相談対応、創業プラン実現支援塾・発表会の運営を行いました。

また、市町村、金融機関、商工会議所等の地域支援機関向けに支援力向上セミナーを開催しました。

さらに、平成24年度・25年度補正予算で事業実施した創業補助金事業者の補助事業終了後の報告書類の管理等フォローアップを行いました。

○実績 事業化等状況報告書受理件数 117件

### (5) ハッ場ダム地域企業支援事業

長野原町ハッ場地区の中小企業者に対して、経営総合相談窓口で相談に応じるとともに、課題解決のための専門家派遣に向けてハッ場対策事務所担当者と打ち合わせ等を行ったが実施には至りませんでした。

○相談実績 0社、派遣実績0社

### (6) 中小企業再生支援協議会事業

産業競争力強化法に基づく認定支援機関として、経営の継続が厳しい状況にある県内中小企業者の再生支援を実施しました。

#### ① 再生計画の策定支援

中小企業者からの相談に対し、経営上の問題点や具体的課題を抽出して状況に応じた適切な助言や支援策の検討を行い、再生が見込まれる企業については、金融機関等と調整を図りながら、公認会計士や中小企業診断士

等の外部専門家による個別支援チームを編成し、再生計画策定を支援しました。

なお、新スキームとして中小企業者と金融機関（メイン行）等が連携し、再生計画（原案）等を金融機関等が持ち込み、それを協議会がチェックすることで、再生計画の策定期間を大幅に短縮しました。

○相談実績

内 容 別		業 種 別	
資金繰り・調達	13件	製造業	12件
経営全般	24件	建設業	9件
		その他	16件
計	37件	計	37件

※15年度からの相談企業累計：805社、相談件数累計：2,327件

○再生計画策定支援開始34件

○再生計画策定完了34件 \*15年度からの累計318件

旧スキーム8件、新スキーム26件

② 経営改善支援センターの運営

中小企業者、特に小規模事業者の経営改善を図るため、認定支援機関が経営改善計画の策定を支援する費用及びフォローアップ費用の一部を負担して経営改善を促進しました。

\*上限額 早期200千円、通常2,000千円 補助率2/3

○相談件数 早期28件、通常53件

○計画策定支援件数 早期56件、通常41件

(7) プロフェッショナル人材戦略拠点事業

成長力の高い中堅・中小企業の新商品開発、新技術開発、新規販路開拓等の新たな攻めの経営実現のため、優秀な外部人材を取り込んで課題解決を図り、企業の成長戦略を具現化してゆくプロフェッショナル人材の採用をサポートしました。

○相談実績

相談件数		業 種 別	
相談対応件数	234件	製造業	135件
(うち人材取次)	(81件)	建設業	25件
		その他	74件
		計	234件

○成約件数40件



#### (8) 中小企業外国出願支援事業

優れた技術力や製品について海外展開を図る中小企業者に対し、外国への特許出願に必要な経費の一部を助成（補助率 1/2）することにより、国際競争力の強化を支援しました。

\*上限額 300～1,500千円、補助率1/2

○採択件数：特許 3件、商標 5件

○補助金交付額：3,065千円

#### (9) 経営人材育成事業

中小企業の経営者や後継者、経営幹部の育成を支援するため、財務や組織戦略について学ぶ「ぐんま実践マネジメントスクール」を開講しました。

コース名	開催日	受講者	会場
経営力を鍛える 実践塾6日間	7月6日,7月23日,8月21日, 9月7日,10月19日,10月20日	22名	群馬県 公社総合ビル

#### (10) 情報整備発信事業

県内中小企業への情報発信として、メールマガジン(G-BOSS)を計31回、349件を配信（約3,350先/回）して、各種支援情報、公募情報、イベント情報など中小企業の経営に役立つ情報を提供しました。

#### (11) ネットワーク交流促進支援事業

幅広い業種を対象として企業間の新たな連携と交流を図るぐんま産業創造倶楽部と当機構が実施する各種事業との連携・協力によって、県内企業の活性化を推進しました。

#### (12) 上海事務所運営事業

県の国際戦略の推進に向けた海外拠点として、中国・上海市に開設した上海事務所を運営しました。主な業務内容は、①県内企業の中国ビジネス展開の支援、②県産品の中国販路拡大支援、③中国から本県への観光客誘致、④中国における本県情報の発信、⑤現地情報の収集・提供とし、県と連携して取り組みました。

#### (13) プッシュ型事業承継支援強化事業

平成29年度に実施した、事業承継ネットワーク構築事業で掘り起こされた支援ニーズに対して、取組の実行性を確保する観点から、県と共に策定した事業承継支援方針に沿って、事業承継の課題を抱える個別企業に対して、地域の専門家と連携を図りきめ細かな支援を行いました。

- 事業承継診断実施 9,311件 (29年度からの累計20,154件)
- 専門家派遣相談件数 111件
- 利用申請 80件 (内承継計画60件、個別課題20件)
- 支払申請 77件 (最終派遣件数)

**(14) コンベンション主催者と県内企業のマッチング支援事業**

コンベンション主催者と県内企業のマッチング支援のためのコーディネーターを設置して、コンベンション開催需要の獲得や主催者に開催協力可能な魅力ある県内企業を紹介するとともに、開催支援事業者同士のネットワークを形成して受け入れ体制の構築を図りました。

- 主催者等への提案 50件
- 県内企業等訪問 延べ262社・団体

**2. 取引開拓支援**

決算額	11,550千円 (前年度12,370千円)
-----	------------------------

**(1) 下請取引あっせん事業**

県内下請中小企業の取引を拡大し受注量を確保するとともに、関係機関との連携により取引の適正化を推進しました。

**① 受注・発注企業の紹介・あっせん**

大手企業の海外展開等により厳しい状況にある県内下請中小企業の受注を確保するため、職員やものづくり販路支援コーディネーター等が県内外大手・中堅企業を積極的に訪問し発注案件を開拓するとともに、県内主要企業外注・生産動向調査を実施し(1回)、効果的な紹介・あっせんに結びつけました。

- 受発注企業登録状況 発注企業：1,465社、うち新規登録：67社  
(30年度末現在) 受注企業：2,583社、 " : 46社

○相談実績

区 分	件 数
取引あっせん相談関係	760件
経営関係	633件
その他	3件
	1,396件

※下請取引に関する相談や付随する経営等に関する相談を集計

○ あっせん実績

区 分	件数等
あっせん紹介件数	4 9 1 件
あっせん成立件数	3 9 件
当初成立金額	1 4 6 , 4 9 3 千円

※商談会による取引あっせんを含む。

○ 訪問企業数

		全 体		
		県内	県外	計
ものづくり販路支援 コーディネーター	発注企業	1 2 0	4 1	1 6 1
	受注企業	3 1 8	0	3 1 8
	計	4 3 8	4 1	4 7 9
職 員	発注企業	3 6	2 3	5 9
	受注企業	1 0 9	0	1 0 9
	計	1 4 5	2 3	1 6 8
合 計	発注企業	1 5 6	6 4	2 2 0
	受注企業	4 2 7	0	4 2 7
	計	5 8 3	6 4	6 4 7

② 提案型企業の育成

県内中小企業が優れた製品や技術力を広く発信PRするため、提案書作成や事業計画立案の支援を通じて提案型企業としての育成・マッチングに努めました。

企 業 名	開 催 日	参加企業数
東芝三菱電機産業システム (株)	平成31年2月7日 (木)	1 0 社

③ 下請かけこみ寺事業

下請代金の未払いや取引上の苦情・紛争に対して、連携する(公財)全国中小企業振興機関協会の相談員が駐在して対応しました。また、関東経済産業局と連携した下請取引適正化講習会などの普及啓発によりトラブルの未然防止に努めました。

○相談実績

業種別		内容別	
製造業	38件	契約上のトラブル	26件
建設業	29件	法令解釈	9件
サービス業等	103件	その他(代金未払い等)	135件
計	170件	計	170件

※うち弁護士対応 12件

○下請取引適正化推進講習会（関東経済産業局連携）

開催日	会場	参加者
平成30年11月26日(月)	ベイシア文化ホール	100名

○価格交渉サポートセミナー（全国中小企業振興機関協会共催）

開催日	会場	参加者
平成30年9月14日（金）	東毛産業技術センター	21名
平成30年9月20日（木）	群馬産業技術センター	24名

## （2）販路開拓支援事業

商談会の開催や展示会への出展によりものづくり中小企業の販路開拓を支援し、取引拡大を図りました。

### ① 広域商談会の開催

県内中小企業の取引拡大を図るため、県外発注企業との商談の機会を提供する「関東5県ビジネスマッチング商談会」（茨城、栃木、埼玉、千葉の各支援機関と共催）を開催しました。

開催日	会場	内容
平成30年9月4日（火）	東京ビッグサイト	発注企業127社（うち群馬 6社） 受注企業232社（うち群馬 43社） 商談件数1,425件（うち群馬280件）

### ② 個別商談会の開催

発注案件等による県内外企業からの発注案件にタイムリーに対応し、県内中小企業にマッチングの場を提供しました。

区分	開催回数	発注企業	受注企業	内容
個別面談方式	70回	67社	70社	商談件数 70件
提案型方式	1回	1社	10社	商談件数 10件

### ③ 展示会出展支援

首都圏や関西等で開催される展示会に県内企業の出展ブースを設け、県内中小企業の優れた製品や技術力を広く全国に紹介して販路拡大を支援、当機構のブースでは来場者の発注ニーズに対応するとともに、本県の技術力をPRしました。

#### ○国際航空宇宙展2018東京（航空宇宙産業参入促進事業）

開催日	会場	内容
平成30年11月28日～30日	東京ビッグサイト	共同出展企業 4社 商談件数 33件

#### ○関西機械要素技術展（次世代自動車産業参入促進事業）

開催日	会場	内容
平成30年10月3日～5日	インテックス大阪	共同出展企業 8社 商談件数 293件

#### ○メッセナゴヤ2018（次世代自動車産業参入促進事業）

開催日	会場	内容
平成30年11月7日～10日	ポートメッセなごや	共同出展企業 10社 商談件数 283件

#### ○第9回クルマの軽量化技術展（次世代自動車産業参入促進事業）

開催日	会場	内容
平成31年1月16日～18日	東京ビッグサイト	共同出展企業 8社 商談件数 587件

#### ○彩の国ビジネスアリーナ2019

開催日	会場	内容
平成31年1月30日～31日	さいたま スーパーアリーナ	県内出展企業 19社 商談件数 136件

#### ○群馬ものづくりフェア（県との共催）

開催日	会場	内容
平成30年11月20日～21日	ビエント高崎	参加企業 112社 商談件数 321件 来場者数 1,641名

### 3. ものづくり技術・産学連携支援

決算額	46,569 千円 (前年度 41,631 千円)
-----	---------------------------

#### (1) ものづくり人材育成事業

県内ものづくり企業の技術力や競争力の底上げを図るため、次の事業を実施しました。

##### ① 改善指導員育成事業

###### ア ぐんまものづくり改善インストラクタースクール

ものづくり企業における品質向上、納期短縮、コスト低減等現場の改善を指導できる人材を育成するため、講義、演習、現場実習を通じて「ものづくりの流れを作るプロ」を養成しました。

開催日	会場	受講者
平成30年10月4日～12月7日の 延べ20日間	群馬県公社総合ビル	企業現役 6名 OB 2名

###### イ ぐんま改善チャレンジ事業

現場改善の専門家として養成したインストラクターを企業へ派遣し、工場内の課題解決及び生産性向上を支援しました。

・派遣企業数 2社

##### ② 群馬ものづくり現場新人研修

中小製造業の新人社員を対象に、ものづくりの現場で必要とする知識を体系的に習得させ、現場への適応をサポートしました。

開催日	会場	受講者
平成30年4月12日～13日	前橋産業技術専門校	44名(12社)
平成30年4月16日～17日	高崎産業技術専門校	42名(19社)
平成30年4月19日～20日	太田産業技術専門校	45名(17社)

##### ③ I o T 講習会

I o Tとは何か、仕組みやデータ活用方法など具体的な導入事例を学ぶ講習会を開催し、I o T等導入による生産性向上を支援しました。

セミナー名	開催日	会場	参加者
I o T講習会	平成31年3月8日	群馬県公社総合ビル	8人

##### ④ スマートものづくりコーディネーター事業

スマートものづくりコーディネーター1名を配置し、I o T等実態把握のための企業訪問や導入等のアドバイスを行い、県内中小企業へI o T・

A I 等の普及促進を図りました。

I. コーディネーター1名雇用

II. 支援企業数 82社

III. セミナー 2回

セミナー名	開催日	会場	参加者
先端ものづくり セミナー	平成30年11月20日	ビエント高崎	33人
	平成30年11月21日		49人

IV. 先進地視察

開催日 平成31年2月14日

視察先 阪部工業株式会社（愛知県刈谷市）

参加者 10人

V. 専門家派遣 派遣なし

### ⑤ 医療機器開発支援ネットワーク事業

医療機器の開発・事業化について、関係機関が連携し、開発初期段階から事業化に至るまで切れ目無くサポートしました。

## (2) 国・県の競争的資金の支援

### ① 競争的資金の獲得支援

国や県の助成金を利用して高度な技術開発や事業革新等を目指す中小企業に対して、採択されるよう事業計画づくりの段階から支援しました。

補助金名等	支援 件数	うち採択 件数
(国) 戦略的基盤技術高度化支援(サポイン)事業	2	2
(国) ものづくり・商業・サービス生産性向上補助金	139	35
(国) 小規模事業者持続化補助金	37	21
(国) サービス等生産性向上 IT 導入補助金	6	2
(国) 省エネルギー設備・導入運用改善補助金	1	1
(国) 商業・サービス競争力強化連携事業（新連携支援事業）	1	1
(県) 戦略産業への正規雇用支援事業	1	1
計	187	63

## ② 戦略的基盤技術高度化支援（サポイン）事業

平成 28 年度に採択され、経済産業省（関東経済産業局）から交付決定された 1 件及び平成 30 年度に採択された 1 件について、事業管理者として地域の共同体による研究開発を促進しました。（最長 3 年間の補助制度）

採択年度	研究開発テーマ	研究実施者 (間接補助先)	平成30年度 採択額(円)
平成 28 年度 採 択	次世代自動車向けSi/SiCパワーモジュール用超高効率スーパーファインピッチダイカスト冷却器の研究開発 (最終年度)	群馬合金(株)	22,313,000
平成 30 年度 採 択	新しい脳外科内視鏡手術のための精密鉗子の開発	共和産業(株)	44,933,875

## (3) 戦略産業雇用創造プロジェクト事業

航空宇宙産業参入支援事業、次世代自動車産業参入促進支援事業を通じて雇用の創出に努め、196人の雇用を確保しました。

### ① 航空宇宙産業参入支援事業

群馬県と連携して航空宇宙産業への進出を目指している企業に対し専門的知識を有するコーディネーターを3名雇用し、新規参入及び販路拡大をサポートしました。また、自社の技術をPRするため「国際航空宇宙展2018東京」に出展しました。雇用実績：167人

### ② 次世代自動車産業参入促進事業

軽量化、EV化、自動運転化が進む自動車産業において、自社の技術をPRするため、「第21回関西機械要素技術展」、「メッセナゴヤ2018」、「第9回クルマの軽量化技術展」に出展しました。雇用実績：29人

## 4. 設備導入資金債権管理

決算額	2,167千円（前年度10,649千円）
-----	----------------------

設備資金貸付事業の正常債権の管理を行うとともに、設備貸与事業及び県単リース事業の延滞債権の回収・整理を進めました。



## 5. 理事会・評議員会の開催状況

### (1) 理事会の開催状況

回数	開催日	開催場所等	議案 番号	件 名	備 考
第24回	平成30年 4月1日	みなし決議	第1号 第2号	副理事長及び専務理事 の選定について 専務理事の報酬額等 について	理事総数 9名 同意理事 9名
第25回	平成30年 5月8日	みなし決議	第1号	評議員会招集の決定に ついて	理事総数 9名 同意理事 9名
第26回	平成30年 6月6日	群馬産業技 術センター	第1号 第2号	平成29年度事業報告 及び決算について 定時評議員会の開催に ついて	理事総数 9名 出席理事 8名
第27回	平成30年 6月21日	みなし決議	第1号	理事長、副理事長及び 専務理事の選定につい て	理事総数 9名 同意理事 9名
第28回	平成31年 3月28日	群馬産業技 術センター	第1号 第2号	平成30年度収支予算 の変更について 平成31年度事業計画 及び収支予算について	理事総数 9名 出席理事 9名
第29回	平成31年 3月31日	みなし決議	第1号	評議員会招集の決定に ついて	理事総数 8名 同意理事 8名

## (2) 評議員会の開催状況

回数	開催日	開催場所等	議案 番号	件 名	備 考
第 16 回	平成 30 年 4 月 1 日	みなし決議	第 1 号	理事の選任について	評議員総数 9 名 同意評議員 9 名
第 17 回	平成 30 年 5 月 9 日	みなし決議	第 1 号 第 2 号	評議員の選任について 役員及び評議員の報酬 等並びに費用に関する 規定の一部改正につい て	評議員総数 8 名 同意評議員 8 名
第 18 回	平成 30 年 6 月 21 日	群馬産業技 術センター	第 1 号 第 2 号	平成 29 年度決算につ いて 理事及び監事の選任に ついて	評議員総数 9 名 出席評議員 6 名